

2023年12月14日

各 位

会社名：**SCAT株式会社**  
代表者：代表取締役 社長 長島 秀夫  
(コード：3974 東証スタンダード市場)  
問合せ先：執行役員 IR担当 高橋 栄  
(TEL：03-6275-1130)

## 取締役会の実効性評価の結果概要に関するお知らせ

当社は、取締役会の機能向上による企業価値向上を図ることを目的として、第56期（2023年10月期）における取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 分析・評価の方法

当社は、指名報酬委員会において、全ての取締役及び監査役に対し、第56期（2023年10月期）における取締役会の実効性に関して段階評価及びコメントを記載する方式の質問票を配布し、無記名方式により全員から回答を得ました。これを集計した上で、取締役会において分析・評価を行いました。

##### (1) 実施日時

2023年11月 アンケート作成、回収、評価・分析及び課題抽出  
2023年12月 指名報酬委員会から取締役会へ答申  
2023年12月 「第56期（2023年10月期）取締役会の実効性評価」確定

##### (2) 評価者

全取締役、及び監査役

##### (3) 実施方法

全評価者に対するアンケートの実施  
指名報酬委員会でアンケート結果の評価・分析及び課題抽出

##### (4) 評価項目

第1部 取締役会の構成  
第2部 取締役会の運営  
第3部 取締役会の議題  
第4部 取締役会を支える体制

## 2. 評価結果の概要

各取締役及び監査役の自己評価において、当社の取締役会の実効性について前年度評価より改善されておりますが、実効性の課題を確認いたしました。

評価された項目では、特に取締役会の運営について、資料の事前検討時間の確保のため、セキュリティを確保したクラウド上のファイルボックスを活用し、利便性が増し議事の活性化に繋がったと評価されました。取締役会の議題では、事業戦略のほか資本効率の議論が増え、ROE や PBR を意識した施策についての検討が評価されました。

しかし、ESG 経営や SDGs などの環境経営対応や健康経営を含む人的資本への議題がまだまだ不足しているとの指摘があり、今後の課題となりました。さらに個別のテーマのうち、経験のある有識者からの意見等の情報収集、役員のトレーニング等の改善点が挙げられ、次年度に向けた課題が明確になりました。

## 3. 改善された項目

- (1) 情報提供の機会、協議資料の事前検討時間の確保、支援体制
- (2) 取締役会の議題

## 4. 評価結果を踏まえた取り組み

当社取締役会は、本評価結果を踏まえ議論した結果、以下を課題として認識し、取締役会の実効性向上のための取り組みを行います。

### (1) 経営戦略等に関する議論の深化

当社は、取締役会における重要な議論時間を確保し、具体的な経営戦略や経営資源の配分計画などの議論を深化させます。そのため、取締役会では経営と業務執行の管理監督に関する議案を審議し、執行役員会では業務執行に関する議題とテーマを定めてまいります。

また取締役会において株主資本コストや株価を意識し、中期的な計画に基づいた施策を遂行するために、当社株主資本コストがCAPMで算定すると約4%~6%であることを役員及び経営幹部が共有し、企業価値向上に向け自己資本利益率（ROE）や株価収益率（PER）の向上に向けた各施策の監理、及び議論を行います。

### (2) 取締役会を支える体制の強化

当社は、取締役会の活性化を図るため、役員等に対する研修を推奨し、取締役会における議論の質の向上を図り、経営の監督機能を強化します。

当社取締役会は、今回の実効性評価結果を踏まえ、一層充実したコーポレートガバナンス体制を構築してまいります。

以 上